

## 駐妻のヒューストン日記

### 第213回 国宗静夏 さん

この機会に、渡米してからの自分を振り返ってみました。一言で言うと、「よく頑張った、私！！！」

2020年1月、コロナ禍が始まった頃、私と娘はヒューストンに引っ越してきました。娘はまだ5ヶ月で、出産前まで働いていた私は駐在を機に主婦になりました。当時の私は、アメリカで暮らせるなんてラッキー！わたし、英語を話せるようになってっしょ！？と不安も無くわくわくしていました。

いざ新生活が始まると、初めての育児で寝不足&自由時間が取れずストレスフル、主婦業で自分の出来なさにショックを受け、英語も全然分からなくて自己肯定感爆下がりが、、、でも出来ない弱音を吐くのは嫌で、今考えてみるといっぱいいっぱいな毎日を過ごしていたのだと思います。ついに私は限界を迎え旦那に泣いて助けを求めました。旦那は言ってくれて良かったと優しく慰めてくれて、すごく救われました。それから私は、1人で抱え込まない、頑張りすぎない、異国で子供を育てるだけで充分すごい！と今の自分を認めてあげることになりました。そうすることで、心に余裕が出来て、積極的に駐在生活を楽しめるようになりました。

駐在して良かったと思うことは、旦那との絆が深くなったこと、広いお家に住めること、家族と沢山の時間を過ごせること。この地で好きなところは、気さくな人が多いこと、近所



Dinosaurに乗って嬉しい娘



キレイな川で魚を捕まえたい旦那

で色々な生き物が見られること、楽しい無料イベントが多いこと。今では家族ぐるみで仲良くしてくれる友達やママ友も出来て、楽しい毎日を送っています。娘がデイケアに行き始めてからは、自由時間も取れて気持ちをリフレッシュ出来るようになりました。これからの楽しみは、今まで行けていなかったアメリカ国内や隣国への旅行です。

つい先日は、オースティンに行ってきました。娘はDinosaur Parkで大はしゃぎ！旦那と私は久しぶりのキレイな川にテンションが上がりました。英語はまだ勉強中。でも、ESLの先生とも仲良くなり、雑談タイムに自分の話したいことを前よりも話せるようになって、楽しくなってきたところです。今でも英語がうまく話せない、、、と落ち込むことはあるけれど、そんな時は来た当時の自分を思い出して、成長してる！と自分で自分を持ち上げています。帰国するまでの目標は、英語でもおしゃべりな人になること、ジョークを言って笑ってもらえるようになることです。残りの駐在生活も、頑張りすぎずに楽しく過ごします！

## ピーカンキッズ あそぼーかい ボランティア募集

今回はピーカンキッズあそぼーかいのボランティアスタッフについて、紹介させていただきます。随時募集していますので、少しでも興味があればお気軽にお問い合わせ下さい。



### Q.あそぼーかいとは？

A.月に2回、30分程度、ヒューストンに住む子ども達向けに三水会キッズルームで行っているイベントです。手遊び、紙芝居、工作など、毎月、季節にちなんだ行事や文化をテーマにしています。

### Q.誰でもできるの？

A.はい！資格や経験などは全くなくて大丈夫です。現スタッフも教育現場で働いた経験などはなく、未経験の方が多いです。スタッフ同士、試行錯誤しながら子ども達が喜んでくれるよう、話し合い、楽しく進めています。

### Q.何をやるの？

A.毎月2回の本番の内容を決める為に、別日に集まって打ち合わせをします。そこで、その月の本番の役割(担当)を決めています。本番の日には自分の担当内容を子ども達に向けて行います。



### Q.誰がやってるの？

A.スタッフは全員ボランティアです。(現在7名)みんな子育て中のママばかりです。

### Q.子どもが小さいんですが…

A.お子さまも一緒に参加して頂いて大丈夫です。打ち合わせ中はずっと座っている必要はなく、お子さまは隣で自由に遊んでもらっても良いです。スタッフはみんな子を持つママなので、大歓迎ですよ。

### Q.やりがいは？

A.子ども達の楽しそうな笑顔、喜んでくれている姿を見られた時に一番やりがいを感じます。また、あそぼーかいはママ同士が交流したり、少しでも息抜きができる場もありたい、と思っているので、ママ達に喜んでもらえるのもとても嬉しく感じます。